CoreViewer 操作ガイド

本製品は、コアズ株式会社の圧縮エンジンの評価ソフトです。 インストール後、30日だけ起動できます。 著作権を含む使用許諾は、本製品のインストール時に表明されたものとします。

本製品の推奨スペックは、下記の通りです。

- OS: Windows XP (SP2以降)
- CPU: PentiumIV 1.5GHz 以上
- メモリ: 512Mbyte 以上

1)CoreViewerの起動

CoreViewerの起動は、デスクトップ上にあるショートカットをダブルクリックします。



下記図のスタートアップ画面が表示されますので、【Viewer スタート】をクリックすることで Viewer が起動します。

	CoreViewer - スタートアップ				
	現在、プロテクト状況は プロテクトは解除済みです。	Viewer	·Z&-ŀ		
	ログインパスワードを入力してください プロテクトは解除されています。 クリア プロテクト	 解释除 [終了 PcIDの取得		
			コアズ株式会社		
CoreViewer ファイル(E) 表示()	′ ⊉ ∿⊮7°(⊞)				
6 8 8 8 9	ો વે વે 🦉				
				CORES	
レディ		1		コアス株:	式会社

2)ファイルのオープン

メニューバーの「ファイル」→「開く」を選択します。 (デモファイルはインストールフォルダ内にあります。)



3)ファイルの圧縮

BMP, TIF ファイル等の圧縮はファイルのオープン後、メニューバーの「ファイル」→ 「名前を付けて保存」を選択します。

ファイル名を入力後、拡張子に「avm」を選択して、「保存」をクリックします。





4)パラメータの設定

パラメータの設定ウィンドウが開かれるので、必要なパラメータを設定して、 「OK」をクリックします。(詳細なパラメータ設定は、下部を参照して下さい。) なお、圧縮モードは常に「高圧縮」を選択して下さい。

圧縮パラメータ設定 基本パラメーター	「可逆オプション	ノイズ除去の場合は、チェックをはずす (可逆設定の場合は、基本パラメータの 設定が無効になります)
OQV 0 •	□ 可速 - 圧縮モード - Γ 高圧縮	
	 	高圧縮は常にチェックします

モノクロ画像(avm)の圧縮パラメータの設定には、Area, OQV, Smooth, Loss less and High Compress があります。デフォルトの設定は下記の通りです。

圧縮パラメーダ設定	×
基本バラメータ Area 10 マーナ	- 可逆オブション
OQV 0 ▼÷	- 圧縮モード
庄縮保存開	始中止

①Area (単位: ピクセル,範囲:0[~]∞)

Area パラメータはノイズ除去のためのパラメータです。 本パラメータは、図形の面積値(ピクセル数)を判定し、指定されたエリアオプションの値以下の図 形を破棄、穴埋めをします。エリアオプション値の設定は以下の相関を持ちます。

数値を上げていくと・・・圧縮率向上、品質低下 数値を下げていくと・・・圧縮率低下、品質向上

例1: Area パラメータ値=4の場合

Area Option 4



※ 4ピクセル以下の領域データが削除されます。

例2: Area パラメータ=9の場合



※ 9ピクセル以下の領域データの削除、穴埋めがされています。

②<u>OQV: Outline Quantization Vector</u>(単位:レベル, 範囲: 0-5)

このパラメータは、データの品質(解像度)を一度低下させたうえで、Area パラメータで設定した値で再圧縮します。レベルOでは再圧縮しません。レベルを 1 以上に設定し保存を実行すると、設定が有効になります。

このパラメータを使用する場合はデータの解像度を低下させるため、Area パラメータをあまり大きくしないでください。Area パラメータを大きく設定した場合は、OQV パラメータを無効、もしくは最小値で設定することをお勧めします。

圧縮率と品質の相関関係は、下記のようになります。

数値を上げていくと・・・圧縮率向上、品質低下 数値を下げていくと・・・圧縮率低下、品質向上

③<u>Smooth</u>(単位:オン/オフ)

このパラメータは、スパイクノイズと呼ばれる1ピクセルの凹凸を削除するものです。 イメージスキャナで取り込んだイメージデータは、ノイズが入りやすく、本来のデータ(紙データ) よりも劣化するのがあります。このパラメータを使用する事により、品質にあまり影響を与えず に圧縮率を向上させる事が可能になります。

通常はこのパラメータを ON で使用する事をお勧めします。

※ 対象画像の解像度が 200dpi 以下の場合は注意をして下さい。 (解像度が低い場合、1ピクセルの有無が再現時に非常に重要になる為です)

例3:

Smooth ON



※注意:スパイクノイズが図形の始点座標(ピクセル)の場合は削除しません。.

④可逆(単位:オン/オフ)

可逆と非可逆圧縮を選択します。

可逆をチェックすると、可逆圧縮を実行します。可逆圧縮では、オリジナル画像を損なうことなく圧縮しますが、非可逆圧縮よりも圧縮率で劣ります。なお、Area、OQV、 及び Smooth のパラメータ設定は無効になります。

⑤高圧縮(単位:オン/オフ)

このパラメータは、上記のパラメータで設定した圧縮ファイルに対して、さらに高 圧縮処理を施します。圧縮処理工程が一つ増えるため、圧縮処理スピードがパラメ ータオフに比べて落ちる場合があります。復元にしても同様です。しかし、圧縮率は 高くなります。

5) 圧縮後ファイルの表示

「ファイル」→「開く」で、圧縮ファイル(***.avm)を選択して開きます。

開 (? 🛛	
ファイルの場所型:	🔁 sample		▼ ← 1 →	•	
	名前 🔺	ታብ.	ズ 種類	新日時	
最近使ったファイル	sample.avm	29 K 482 K	B AVM ファイル B BMP ファイル	20 /06 17:38	
	Sampic.omp	402 1		200 11-27	
ד גטראר סיר דר דידיאטר	ファイルサイズを一覧で確認で 場合は、「詳細表示」を利用			:一覧で確認する 長示」を利用	
ער בארב אר גער באר					
Sector 1					
マイ ネットワーク	<	Ш		>	
	ファイル名(N):			▼ 開((<u>0</u>)	
	ファイルの種類(工):	すべてのファイル (*.*)		▼ キャンセル	

6)2つのウィンドウの表示

2つの画像の比較には、メニューバーの「ウィンドウ」→「横に並べて表示」をクリックします。



7)復元ファイルの拡大/縮小

メニューバーの「表示」→「倍率の変更」で、拡大/縮小表示を行います。 Resolution で画面解像度を設定します。 0 を選択した場合は、ピクセル等倍になります。 AZoom で拡大率/縮小率を設定します。

※「縮小時多値出力」は常にチェックを入れて下さい。

	復元パラメータ設定	
拡大率/縮小率の変更	バラメータ Zoom 50 マーナ Resolution 72 マーナ 中止	
	☞ 縮小時多値出力 縮小時多値出力	は常にチェック

8)オリジナル画像(BMP/TIF 等)の拡大/縮小





下図は、2つの画像を並べて表示し、縮小表示したところ